



【専門医派遣31】

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 対馬市立仁田中学校

| | | | | |
|--|--|-----------------|----------------|-----------------------|
| 実施日 | 令和5年12月15日(金) | | | |
| 場 所 | 対馬市立仁田中学校 | | | |
| 講 師 | 長崎県対馬病院 産婦人科 志田 泰一郎 氏 (産婦人科医) | | | |
| 形 態 | ○講話 ・職員研修 ・その他() | | | |
| 参加者 | 生徒 (全) 学年 (24) 人 | 学校職員 (7) 人 | 保護者 (0) 人 | その他 () (0) 人 |
| | <p>テーマ【 私たちの心とからだについて考えよう 】</p> <p>内容(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○二次性徴(男の子・女の子の体) ○妊娠と出産……妊娠と出産、妊娠のしくみ、受精卵の様子、妊娠中の女性の体 胎児の発育 ○10代の妊娠と人工妊娠中絶について……望まない妊娠、緊急避妊薬 ○性感染症……性感染症の特徴、梅毒が増加している ○HIV、AIDSについて ○子宮頸がんについて……患者数、子宮頸がんの予防とワクチン接種 | | | |
| <p><当日の様子></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> | | | | |
| <p><講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○10代の望まない妊娠について考えて行動してほしい。 ○性感染症やAIDSについて理解し、予防してほしい。 ○子宮がん検診やワクチン接種等により子宮がんの早期発見・予防に努めてほしい。 | | | | |

【専門医派遣32】

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 対馬市立比田勝中学校

実施日 令和5年12月18日(月)

場 所 比田勝中学校 多目的室

講 師 長崎県対馬病院 産婦人科 志田 泰一朗 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話) ・職員研修 ・その他()

| 参加者 | 生徒 (全) 学年 (51) 人 | 学校職員 (9) 人 | 保護者 (3) 人 | その他 () (0) 人 |
|-----|----------------------------|-----------------|----------------|-----------------------|
|-----|----------------------------|-----------------|----------------|-----------------------|

テーマ【「私たち」のこころとからだを考える】

内容(具体的に)

- ・男女の体の違い(解剖学) ・二次性徴について
- ・月経について(低用量ピルについての説明も含む)
- ・妊娠、出産、避妊について ・子宮頸がん、子宮頸がんワクチンについて
- ・性感染症(特に梅毒)について ・性の多様性について

<当日の様子>



・大人数の場に入ることが難しい生徒も隣の部屋や多目的室の外等、参加できる場所から参加しました。

<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

【講師から】

・講話後、子宮頸がんワクチン啓発のリーフレットを女子生徒へ配付

【成果】

- ・生徒が命の大切さや自分の体のこと、将来のことを考えるきっかけとなった。
- ・子宮頸がんワクチンを接種した生徒も改めてワクチンについて理解することができた。
- ・授業や保健指導では取り扱いが難しい内容も専門的な立場から説明していただくことができた。

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立虹の原特別支援学校壱岐分校

実施日 令和5年7月27日(木)

場 所 小中学部 多目的教室

講 師 医療法人社団協生会 品川病院 品川 貴章 氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他()

| | | | | |
|-----|--------------|----------|---------|------------|
| 参加者 | 生徒 () 学年 | 学校職員 | 保護者 | その他 () |
| | (0) 人 | (15) 人 | (0) 人 | (0) 人 |

テーマ 【 思春期の健康講話 】内容(具体的に)

- 1 思春期の体の変化
(思春期とは、第二次性徴について、思春期の健康管理のポイント)
- 2 月経(生理)と妊娠
(妊娠から出産まで、人工妊娠中絶、代表的な避妊方法)
- 3 性感染症(クラミジア感染症、梅毒)
- 4 子宮頸がん・HPVワクチン

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・月経について、15歳までに初潮がないときや、18歳になっても周期が安定しないとき、学校を休むほど月経痛がひどいときは、一度婦人科に相談した方が良い。
- ・若年妊娠のリスクや性感染症について、データや症例などを示していただいた。
- ・子宮頸がんについて、症状やワクチンでどのくらい予防できるのかなどを示していただいた。
- ・児童生徒に伝えていくためには教職員が正しい知識、情報を得ることが必要だと感じた。この研修で学んだことを、児童生徒や保護者にも伝えていきたいと感じた職員が多かった。

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 壱岐市立郷ノ浦中学校

実施日 令和6年1月25日(木)

場 所 壱岐市立郷ノ浦中学校ミーティングルーム

講 師 医療法人社団協生会 品川病院 品川 貴章 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話) ・職員研修 ・その他()

| 参加者 | 生徒 | 学校職員 | 保護者 | その他 |
|-----|----------|---------|---------|-------|
| | (3) 学年 | | | () |
| | (73) 人 | (6) 人 | (0) 人 | () 人 |

テーマ【 思春期の健康講話 】

内容(具体的に) パワーポイントを使用して説明

- 1・思春期の体の変化
- 2・月経(生理)と妊娠
- 3・性感染症
- 4・子宮頸がん・予防ワクチン

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

性感染症や避妊の内容は、教師(大人)も非常に参考になる話で、全国のデータと共に壱岐市の情報も教えてもらい、生徒同士や家庭に持ち帰り、話題として伝え合うことができる内容であった。

子宮頸がんワクチンについて、接種年齢や料金、メリット・デメリット等詳しい情報を説明していただき、ワクチン接種の啓発にとっても参考になったと思う。

月経(生理)や妊娠・出産の詳しい内容を、男女共に一緒に産婦人科医から学ぶことで、生徒は妊娠・出産がどれだけ女性の体に負担がかかるかを知り、感情だけの性行為に及ぶことがないよう意識できたと思われる。そして、「未成年でも感染症や月経について心配なことがあれば産婦人科を気軽に受診してください」と話され、産婦人科が少し身近な場所となったと思われる。

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立川棚特別支援学校

実施日 令和5年12月12日(火)

場所 多目的室

講師 医療法人 まつお産婦人科 松尾 剛氏 (産婦人科医)

形態 講話 職員研修 その他()

| 参加者 | 生徒 (高等部1~3)学年 (30)人 | 学校職員 (19)人 | 保護者 (0)人 | その他 ()人 |
|-----|-----------------------------|-----------------|---------------|-------------|
| | | | | ()人 |

テーマ【 思春期から大人への心身の変化 】

内容

- ・二次性徴について
- ・男女の身体の変化...ふれあいの12段階
- ・性交について...射精や月経についてや妊娠の仕組み、卵子と精子について
- ・妊娠、出産、中絶、避妊について...胎児、新生児、流産、早産、低体重児の画像。中絶の経験が女性に与える影響。望まない妊娠を避ける方法など。
- ・思春期の男女交際について...お互いに相手に対する優しさや気持ちを抑える勇気、はっきりと断る勇気など

<当日の様子>

- ・多目的室で実施。また、生徒の実態に合わせてリモートでも参加できるようにした。
- ・講話に耳を傾けながら、穴埋めのプリントに記入したり、映像を見たりした。



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

思春期から大人への身体の変化や妊娠、出産などに関わる事柄、思春期の男女の関わり方などについて、画像や動画を使用し、ポイントをおさえて説明していただいた。振り返りを通して、生徒からは、「命の大切さがわかった。」「赤ちゃんは簡単に生まれてくるわけではない。」「責任がもてる大人になるまでは、性交をしないことが大切。」「思春期には、様々な変化が起こることがわかった。」などの感想が聞かれた。また、「人の気持ちを考えて行動したい。」「気持ちを抑える勇気をもちたい。」「人の嫌がることをしない、断る勇気をもつことをこれから意識しながら生活していきたい。」「今生きていることに感謝して生活したい。」など、今後の生活で実践したいことについて考えることができた。

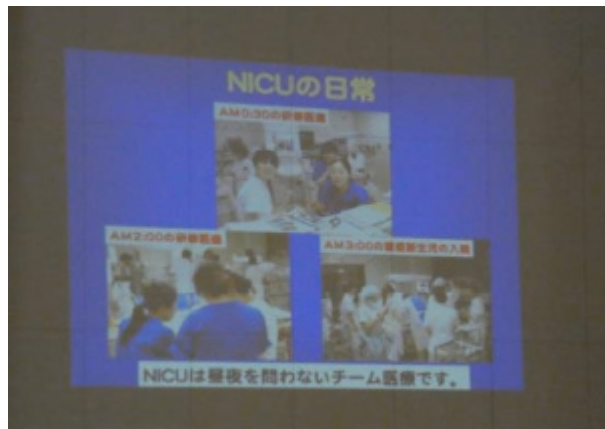
【専門医派遣36】

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立川棚高等学校

| | | | | |
|-----|---|------------------|----------------|-----------------------|
| 実施日 | 令和5年11月7日(火) | | | |
| 場所 | 本校体育館 | | | |
| 講師 | 医療法人 まつお産婦人科 松尾 剛 氏 (産婦人科医) | | | |
| 形態 | 講話・職員研修・その他() | | | |
| 参加者 | 生徒 (全) 学年 (227) 人 | 学校職員 (30) 人 | 保護者 (0) 人 | その他 () (0) 人 |
| | テーマ【 思春期のこころとからだと性について 】 内容(具体的に) テーマと内容 ・産婦人科の仕事について(産婦人科医、助産師、NICU など) ・生命の誕生、出産について ・性感染症の現状について ・避妊と性感染症の予防について ・子宮頸がんワクチンについて ・月経痛とピルについて ・男女交際について | | | |

< 当日の様子 >



< 講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等 >

事前に、本校の生徒の実態などをお話しし、月経で悩んでいる生徒が多いことなどをお知らせしていました。産婦人科がどのような診療を行っているかから始まり、生命の誕生や、性感染症など映像やグラフなど、生徒にとって理解しやすい内容でした。子宮頸がんワクチンについては特に生徒たちにとって印象深かった様子で、感想文の中で自分も接種したいという意見が見られ自分自身のこととして捉えている様子がうかがえました。また、月経で悩んでいる人も産婦人科を受診しているということを話され、ピルの利用についてもわかりやすく説明をいただきました。科学的な見地からだけでなく、生まれてきた命への感謝やお互いへの思いやりの大切さにも触れられ、生徒の心に響いた講話でした。

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立大崎高等学校

実施日 令和5年11月1日(水)

場 所 大崎高校 体育館

講 師 医療法人社団 レディースクリニックICHIRO 森 一 朗 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話) ・職員研修 ・その他()

| 参加者 | 生徒 (2・3) 学年 (80) 人 | 学校職員 (14) 人 | 保護者 (0) 人 | その他 (なし) (0) 人 |
|-----|------------------------------|------------------|----------------|--------------------------|
|-----|------------------------------|------------------|----------------|--------------------------|

テーマ【 女性のからだ・男女の性と生殖 】

テーマと内容
 内容(具体的に)
 ・性感染症について
 ・避妊について
 ・受精・妊娠について
 ・子宮頸がんについて

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・性感染症はほとんど症状がなく気づかないことが多い。少しでも違和感があるときは、恥ずかしがらず、すぐに病院を受診してほしい。
- ・女子は20歳を過ぎたら子宮頸がん検診を受けてほしい。ワクチンは予防にとっても有効である。
- ・「性感染症や望まない妊娠を防止するために避妊具を正しく使用することが大切だと思った」「相手を思いやり、大切にしたいと思った」「子宮頸がんワクチンを接種し予防したいと思った」などの感想があり、講話を通して自他の命を大切にす意識が強くなったように感じられる。

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立盲学校

実施日 令和 6年 1月 16日(火)

場 所 盲学校 会議室

講 師 医療法人愛育会 花みずきレディースクリニック 濱崎 哲史 氏 (産婦人科医)

形 態 講話 職員研修 その他 ()

| 参加者 | 生徒 (中学部全、高等部専 攻科第1) 学年 (6) 人 | 学校職員 (7) 人 | 保護者 () 人 | その他 () 人 |
|-----|---|-----------------|--------------|--------------|
| | | | | () 人 |

テーマ【妊娠、避妊について】

内容
子宮、胎児と新生児の人形の触察
生命の誕生と命の大切さについて
避妊の必要性、性感染症、子宮頸がんについて
(生徒からの質問) 月経について(痛みや経血量の程度、月経痛の対処法)


< 当日の様子 >



< 講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等 >

人形を触察して胎児が大きくなっていく様子を学んだり、出産までの話を聞いたり、講師の「命は時間。今生きている時間を大切にして、命を大切にしてください。」という言葉などが生徒の印象に残ったようで、振り返りで命の大切さを改めて考えた生徒が多くいた。

また、月経の症状の緩和方法についての話は、月経について悩んでいた生徒は興味深く聞いたり、振り返りで解決方法が分かって良かったなどの感想が出たりした。また、男子生徒の中には、月経中の女性に対して自分には何ができるか、講師に質問する生徒も見られた。

| 令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書 | | | | |
|---|---|--|----------------|--------------|
| 学校名 <u>長崎県立鹿町工業高等学校</u> | | | | |
| 実施日 | 令和 5年 9月 7日 (木) | | | |
| 場 所 | 鹿町工業高等学校 体育館 | | | |
| 講 師 | 産科・婦人科東島レディースクリニック 東島 博 氏 (産婦人科医) | | | |
| 形 態 | ・講話 ・職員研修 ・その他() | | | |
| 参加者 | 生徒 (1、2、3) 学年 (318) 人 | 学校職員 (31) 人 | 保護者 (0) 人 | その他 () 人 |
| | テーマ【 思春期のこころとからだ、妊娠と出産、子宮頸がんワクチン 】 内容(具体的に) 思春期の心とからだ ・二次性徴(男女別のからだや外性器の変化) ・女性の性に関する不安や悩み ・女性の内性器 ・月経のしくみ ・月経痛の乗り切り方 妊娠と出産 ・性交 ・妊娠のしくみ ・妊娠中の女性のからだ ・胎児の発育 子宮頸がん ・子宮頸がんの種類 ・子宮頸がんを取り巻く日本の状況 ・子宮頸がんの原因 ・子宮頸がんの定期検診受診率 ・男女間の感染様式 ・進行と治療法 ・ワクチン接種の推奨 | | | |
| テーマと内容 | | | | |
| <当日の様子> | | | | |
|  | | 体育館で全学年一斉に講話を聞くことができた。パワーポイント資料を、体育館前方のスクリーンと生徒用のタブレットに配信した。写真やイラストを多く用いてくださっていたため、イメージや理解をしやすい内容であった。 | | |
| <講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容など> | | | | |
| 東島先生より、思春期のこころとからだ、妊娠と出産、子宮頸がんの主に3つの内容について、専門的視点からお話して頂いた。講話を受け、生徒からは、「保健の時間だけでは学べないことが学べてよかった」、「初めて聞く内容ばかりで最新の知識が増えた」など、専門医からの講話の必要性を感じる感想が寄せられた。さらに、「今回初めて知ることが多かった」や「踏み入った話をしてもらい、関心が高まった」等の感想があり、専門医の先生から、一步踏み入った話をして頂いたことで、生徒たちは、他人事ではないという意識を持つことができるようになったと思う。また、「子宮頸がんワクチンについて姉に伝えたい」「今日の学びを実践だけでなく、周囲に伝えることで、1つでも多くの命を救うことができると思う」などの感想もあり、講話の中で得た知識や考えを、積極的に伝える力を身につけることができた。特に、子宮頸がんについては、初めて聞いたという生徒も少なくなく、生徒にとって貴重な学びとなった。女子生徒の中には、今まで怖くて受診できなかったが、今回の講話で受診することを決めた生徒や、親が副作用を理由に反対しているが、今回聞いたことを話したいと思うようになった生徒もあり、今回の講話がワクチン接種や定期検診への関心を高め、受診へと繋がったケースも見られた。男子生徒からは、「男性である自分達も他人事ではないと思った」や「あまり聞く機会がなかったことを聞いて嬉しい」、「今回学んだことを将来のパートナーへ教えたい」などの感想があり、男子生徒にとっても有意義な時間となった。 | | | | |

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立清峰高等学校

| | |
|-----|----------------------------------|
| 実施日 | 令和 6年2月 15日(木) |
| 場 所 | 長崎県立清峰高等学校 大講義室 |
| 講 師 | 産科・婦人科東島レディースクリニック 東島 博氏 (産婦人科医) |
| 形 態 | ○講話 ○職員研修 ○その他() |

| | | | | |
|-----|----------------|---------|---------|------------|
| 参加者 | 生徒 (3) 学年 | 学校職員 | 保護者 | その他 () |
| | (139) 人 | (6) 人 | (0) 人 | () 人 |

| | |
|--------|--|
| テーマと内容 | <p>テーマ【 思春期のこころと体 】</p> <p>内容(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本産婦人科医会の資料を用い、「妊娠と出産」「思春期って何だろう？性って何だろう？」「予防できます！子宮頸がん」「男の子のからだ」 ・性交が妊娠に直結することを説明した上で、妊娠・出産の大変さや、望まない妊娠をしないために避妊具や緊急ピルがあること。 ・二次性徴による身体の変化。女子の月経や月経痛への対策について説明。 ・子宮頸がんワクチンの重要性や、今の時期に接種することが望ましいこと。 ・ペニスの癌もあるため清潔に保つこと。 ・その他にも、LGBTについて触れ、大切な人と人生を歩めるように検診をしっかり受けることや、子宮頸がんワクチン接種することで防ぐことができる病気について説明。 |
|--------|--|

<当日の様子>

講話の最初に東島先生から、社会にでる君たちが、大切な人と関わりを持ち、性的な関係をもつことは自然なこと。ただ、子育てができる環境なのかをきちんと考えることが大切であり、コンドームなどの避妊具を使用することも大切と話された。生徒達は身近な問題と感じたようで、真剣に先生の話に耳を傾けていた。男女の身体の仕組みについてパワーポイントを使って説明があった際も、男女に関わらず、話を聞くという姿勢が見られた。



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

【講師からの指導や助言・成果】

- ・子宮頸がんのワクチン接種は今の時期に実施することが重要。保護者にも理解を深めてもらい、早めに接種できるようにしてほしい。また、早期発見のため定期的に検診を受けてほしい。
- ・望まない妊娠を防ぐために、現在は緊急ピルもあるため、自分1人で抱え込まないでほしい。

【生徒の行動変容・意見】

・講話中は真剣な様子の生徒が多かった。感想文からも「今まで詳しく知らなかった異性の身体の仕組みを知れて良かった」「望まない妊娠を避け、自分を相手も大切にしていきたい」「ワクチン接種や定期的な検診で、自分の健康を守っていきたい」など、多くの生徒が、将来に向けて真剣に考える機会になったようである。